



継続と改革

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南

住 所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 黒岩久登

地域社会の経済発展月間・米山月間

| | | | |
|----------------|------------|---------------|----|
| 第 3352 回例会 | No.15 | 2023. 10. 25 | 晴れ |
| 点鐘・国歌・ロータリーソング | 12 時 30 分 | 「我ら日本のロータリアン」 | |
| 四 つ の テ ス ト | 竹井崇利 君 | | |
| 例 会 行 事 | 会員卓話 峰松俊夫君 | | |

会長時間

今月のロータリー特別月間は「地域社会の経済発展月間」となっています。ロータリーは、地域の人々の自立へ向けたスキル指導、家計を支えるための就職支援などを通して、地域社会の自立、経済の発展を目指すというものです。

今日は、この「地域社会の経済発展」分野での R I 活動を紹介します。元軍用飛行士で、米国の宇宙関連機関の契約社員だったジョンダー・ブラッドショーさんは、現在、次世代の科学者やエンジニア、特に恵まれない地域の若者を指導するという別の使命を持っています。今年の5月のロータリーニュースの特集記事ページで紹介されています。8月のロータリーボイスには、クラブ会員たちが話し合うのを聞きながら、私は涙を抑えきれませんでした。まだ国際ロータリーから正式に加盟認証されていないにも関わらず、近くの村の人たちを助ける奉仕プロジェクトの計画をもう話し合っていたのです。しかも、創立会員である女性たちは、貧困ラインを大きく下回っていました。これには、貧しくても奉仕・アフリカの人々から学ぶというタイトルがつけられていました。

東京愛宕ロータリークラブでは創立以来、「地域の社会課題の解決を目標とした起業家」を対象とした、現役の経営者を招いた講演会などの支援プログラムを定期的開催してきたことが紹介されています。また2019年のロータリーボイスでは、「コロナ禍と戦う力を地域社会に」というタイトルで、コロナウイルスは全世界、特に発展途上国の労働者階級に深刻な影響を与え、公衆衛生への脅威のみならず、数百万という人々の生計と福利に長期的なダメージを及ぼしています。地域社会の経済を保持する最善のアプローチは、地域全体が一体となってソリューション（解決、解答ここでは解答の意味）を生み出すことで、困難な立場に陥る人の数を減らし、地域社会と市民の対応力と回復力を高めることです。と取り上げています。同年同月のロータリーボイスでは、「町を元気にする若者をつなげ 新たなインスピレーションを与える」というタイトルで有田ロータリークラブが60周年記念事業として「まちづくりサミット」を開催したことを紹介しています。参加者は若者を中心とし、行政関係やロータリアン合わせて200名ほど集まり、会場は満員だったこと。まちづくりのアジェンダ（予定している会議内容のまとめ、一言でいうと予定表のこと）としては若者の参加、地域社会への貢献者の表彰、グループリーダーのパネルディスカッション、キーマンを生み出すなどの内容で実施されました。

2019年のロータリーニュースでは、ハイデイ・クイーンさんが「地雷原がフルーツ畑に変わりますように」というアイデアを実現するために、非営利団体 Roots of Peace（平和の根）を創設。今日までに何十万もの地雷や危険な軍事用品の撤去に取り組み、生まれ変わった大地を果樹園に変えていきました。アフガニスタンのショマリ平原で大地を回復させ、ベトナムのクアンチ省で地雷を撤去し、黒コショウの木とタロイモを植えました。さらに、農家が作物を市場に売り出す支援も行っています。

ここからは、ロータリーショーケースの紹介です。ロータリーショーケースとは、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報を掲載・閲覧できます。

インドのロータリークラブの会員の社会起業家ピニシュ・デサイさんはエコ製品のパイオニアである Eco Electric Technologies を創設。大量の産業廃棄物と家庭ごみをリサイクルして、

さまざまな製品を作っています。そのうちの一つ、紙のごみから作ったレンガは、何千もの低コスト住宅やインド農村部スラムのトイレの建設に使われています。

フェアトレード（開発途上国で生産された原材料または製品を適度な価格で販売し、生産者の生活改善と自立を目指す貿易の仕組みのこと）の製品とサービスを提供する非営利団体（Seven Women）は、ネパールの女性たちのエンパワーメントを目指して、メルボルンロータリークラブ会員のステファニー・ウラードさんと元ロータリー平和フェローによって2006年に設立された。収入向上と自立のために、女性たちはスキル、読み書き、資産管理の研修を受けます。

ブラジルのロータリークラブでは、地元農家とともに森林農業を育てるプロジェクトに取り組んでいます。クラブが立ち上げたこのプロジェクトでは、持続可能な植林と有機農業を組み合わせ、土壌の持続可能性を高め、農産物の生産を増やしています。そのおかげで農家たちは、少量の余剰作物を市場で販売できるようになりました。

ここからは、先日開催されました地区大会の報告をさせていただきたいと思います。都合14名での参加となりましたが、宮崎県南部グループの当クラブ以外は串間、中央あわせて5人の参加で、空席が目立ちました。

井野畑幹事と私は九時半からの合同協議会に参加し、RI会長代理を紹介され、挨拶を聞くことになりました。中川基成という東大法学部出身の方です。奈良県のあすかロータリークラブの方でした。その後指導者育成セミナーが「ロータリーのラーニングモデルとクラブ文化」というテーマで開催されましたが、メンタルケアの重要性とDEIの推進をというフレーズが耳に残りました。第一本会議の幕開けは宮崎学園高校の吹奏楽部の演奏で、そこから、RI会長代理入場、来賓入場、開会宣言、点鐘、ゲスト国、日本の国家斉唱、ロータリーソング斉唱、といつもの流れで続き、各クラブの紹介です。鹿児島のロータリアンはいつも元気で、今年も大きな声で返事をしていました。私も叫ぼうかなと一瞬思いましたが、大人なのでやめおきました。

うちは、14人いるので安心ですが、串間は二人、中央も会員さんは二人でしたので返事の声が届く心配でした。なんとか聞こえたのでしょう。無事次に行きました。一般のロータリアンが唯一参加できる各クラブの紹介が終わると、黙とう、ホストクラブ歓迎挨拶、来賓祝辞、姉妹地区ガバナー挨拶、祝電披露、となりますが、返事をし終わった各クラブのロータリアンはそろそろ帰り支度を始めています。

ガバナーアドレス、会長代理アドレスの内容については、十分心得ている中身でしたが一点だけ、ロータリーアクトの活動報告と若い視点からの問題提起についての発言は登壇者が必ずされていました。若い力からの活性化の必要性を皆さん感じておられるようです。

次に各委員会報告、青少年活動報告、と進み休憩をはさんで記念講演です。柔道家の井上康生が講師です。スポーツ選手の話なので期待して聞いていると、さすが世界をまたにかけ活躍し、男子柔道を監督として復活させたただけの中身のある話を聞くことができました。まず先日まで行われていましたアジア大会の会場の様子を写真で紹介されました。柔道会場の様子ですが、日本の会場とは全く違ってきらびやかなコンサート会場のような場所です。びっくりしました。完全にスポーツがショーになっています。最後の方では日本の選手が戦った各国の選手の上半身の裸の写真を見せました。筋肉隆々でただけで負けると感じます。

井上氏は「こんな野獣と戦うのです。」と言いましたが、まさに野獣の体でした。話の中で、勝つために必要なこととして人間力、自己分析力、そして準備する力が必要だとおっしゃいました。深いですね。そこに到達した人、道を究めた人しか言えない言葉だと感激しました。柔道の話なら10時間くらい続けて話せると冒頭で言われた通り、早口で熱弁されます。現在の世界の柔道はパワー柔道が主流で日本も安泰ではなく、世界の勢力図もだいぶ変わってきた話も印象的でした。今は日本の柔道が勝つのが当たり前ではないのです。指導者としてこれからも、強化をお願いしたいと思います。

その後全てのスケジュールを消化し閉会しましたが、運営・設営にあたられた宮崎ロータリークラブの皆さんには心から感謝したいと思います。大変な労力と時間がかかっただろうと察します。閉会後はホテルに入り、それから夜の街に繰り出し、皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。来年は鹿児島開催なのでまた泊られます。

幹事報告

1. 地区事務所より、2023-24年度地区大会中の落とし物について連絡が届いておりますのでお心当たりがないか参加された方々にご確認願います。
2. 10/18に行いました「わかば奨学金」授与式の模様が、10/24の宮崎日日新聞記事として掲載されましたのでご覧ください。

委員会報告

親睦委員会 来月の結婚・誕生者卓話は二週にわたって行います。

スマイル

- 西島元利君 先週水曜日、ユニクロとタグを組んで服の力を通じた重度障害者の生きがいをづくりのためのプロジェクトを立ち上げることが出来ました。NHK、UMK でも放送していただくなど反響も大きく、何より関わった皆さんが幸せな気持ちになれましたのでスマイルします。
- 石灘寛樹君 先週の月曜日日南警察署から呼び出しがありました。ドラッグストの駐車場で財布を拾ったと届け出があったようです。財布の中の顔写真付名刺が決め手になったようです。警察から電話があるまで財布を無くしたことに気づいていませんでした。拾ってくれた人ありがとうございます!!
- 黒岩久登君 昨日の宮日新聞に写真付きでわかば奨学金の授与式の様子が掲載されました。ロータリーの認知が広がればいいと思います。
- 竹井崇利君 わかば奨学会無事に終了しました。ありがとうございます。今後ともご協力よろしくお願ひします。
- 田島逸男君 昨日宮日新聞に「日南ロータリークラブ」「わかば奨学金」の記事が掲載され、不肖私も集合写真に納まっていたのでスマイルします。この記事を弾みに70周年に向け日南ロータリークラブが市民に認知されることを祈念します。

例会行事

会員卓話 峰松俊夫君



新型コロナウイルス感染症も落ち着きつつあり、経済回復の機運が盛り上がるようになりました。スライドを準備して会員卓話といたしましたが、週報に掲載するにあたり、重要な点を箇条書きにして、ポイントとなる部分が明確になるようにしたいと思います。

- 1) 現在の新型コロナウイルスの感染状況:10月24日現在、新型コロナウイルスの新規感染者は全国で22,711人と推定されています。第9波のピークはお盆後の8月22日の136,606人とされますので、2か月で約1/6に減少しました。
- 2) 新型コロナウイルス感染症の重症化因子として、高齢化と基礎疾患が挙げられます。そのなかで人数的にも重要なのは高齢化です。
- 3) 高齢化が重症化因子となるのは加齢による免疫の低下にあります。免疫能は10歳代をピークに低下し、40歳代では10歳代の半分に、70歳代は10歳代の10%に低下するとされます。
- 4) 加齢により免疫能が低下する現象を「免疫老化」と言っています。「免疫老化」の状態では免疫反応の開始が遅れ、なおかつ炎症反応が慢性化しやすく、自らの免疫で自分の組織を破壊する状態になります。また、免疫学的な記憶も成立しにくい（再感染しやすい）という特徴もあります。
- 5) 高齢者が感染症で重症化するのには、なにも新型コロナウイルス感染症に限ったことではありません。普通の一般的ななかでも高齢者が重症化することがしばしば報告されています。
- 6) また、今回の新型コロナウイルスは呼吸器だけの感染にとどまりませんでした。新型コロナウイルスは血管内皮細胞にも感染しており、多くの臓器に障害が出ています。たとえば、肺の血管内皮に傷害がおこれば肺梗塞、心臓なら心筋梗塞、脳なら脳梗塞といった疾患の発生が見られます。
- 7) また、罹患後症状（後遺症）も問題です。前述のように多くの臓器が影響を受けます。特に脳神経が障害をうけると全身の痛みや筋力低下の症状が現れ、最悪、寝たきり生活に移行する方もいらっしゃいます。
- 8) さて、今回の新型コロナウイルスでは多くの株が出現しました。第4波ではアルファ株が出現し、小児への感染が容易になりました。第5波ではウイルスの排出量が多くなり、より感染拡大しやすくなりました。第6波以降はオミクロン株に変わりました。オミクロン株は早く発症し（潜伏期間が短縮）、他の方へ早期に伝播する（世代時間の短縮）が起りました。デルタ株で1回目の感染が広がる時間で、オミクロン株は次の次まで感染が広がっていました。こうなると、感染者の接触者を調査して濃厚接触者を社会的に隔離していた感染対策も間に合いません。オミクロン株が流行してから保健所の対策は高齢者の重症化予防へと舵取りされるようになりました。
- 9) ではオミクロン株はどこで生まれたのでしょうか。BA.1~BA.5に至るまで最初の発生国は南アフリカでした。南アフリカは今もHIV対策が重要な国のひとつです。ある論文によれば、十分な治療を受けていない南アフリカ共和国のヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染者で、新型コロナウイルス感染症に9か月間罹患した患

者の体内で、少なくとも 21 回の新型コロナウイルスの変異が生じたことが明らかになっています。すなわち、免疫が低い方の体内でウイルスが次々に変異していたことがわかります。新しいコロナウイルス株を出さないためには、世界的な HIV 対策が重要であることが示唆されました。

10) 詳細な抗体検査の研究で現在日本人の 50%強が新型コロナウイルスに感染したことが判明しています。その中でも小中学校の児童生徒の感染率は 75%におよびます。学校での感染対策については検討課題として残るでしょう。

11) 一方で日本の高齢者、とくに 80 歳以上に感染率は 25%未満です。4 人のうち 3 人が感染していなかったことになり、高齢者施設等での感染対策がよく実施されたのではないかと思います。日本は世界的にみても人口あたりの死亡者が少なく抑えられた国です。マスク等では水際対策や行動制限、マスク着用、ワクチン接種に対しての不満や批判がありました。しかし、死亡者を抑えたという意味においては、日本の新型コロナ対策は他国よりも優れていたといえるでしょう。

12) 今しばらく、コロナウイルスは変異して感染拡大することもあるでしょう。罹患後症状（後遺症）問題も残ると思います。そういった状況となっても、今後は経済を活性化させる政策と高齢者・ハイリスク者を守るという政策のバランスをうまくとりつつ、脱コロナ・社会活動の復活を願いたいと思います。

出席率報告

| | 会員数 | 出席免除 | 出席定数 | HC出席 | MU | 欠席 | 出席 | 出席率 |
|------|----------------|-------|------|------|----|----|----|--------|
| 今 週 | 30 | 8 (5) | 25 | 23 | 0 | 2 | 23 | 92.00% |
| 出席免除 | 落丸、小玉、清水、古澤、渡邊 | | | | | | | |
| 先取MU | | | | | | | | |
| 欠 席 | 黒武者、村社 | | | | | | | |

事務局〒887-0014 日南市岩崎 3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：黒岩久登 副会長：築瀬 敦 幹事：井野畑善順 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jp まで送信してください。